

明治 16 年 1883 年

●合気道開祖、植芝盛平、植芝与六の長男として 12 月 14 日現在の和歌山県田辺市元町に生まれる。

明治 30 年 1897 年

●各流の武術遍歴が始まる。

明治 35 年 1902 年

●初めて上京、起倒流の手ほどきを受ける。糸川家のはつと結婚。

明治 41 年 1908 年

●後藤派柳生流柔術の免許を中井正勝の手を経て坪井政之輔より受ける。

明治 45 年 1912 年

●政府募集の北海道開拓民に応募、その団長として北海道紋別郡白滝原野（現・北海道紋別郡遠軽町）に移住する。

●遠軽の久田旅館で大東流柔術の武田惣角に会い、教えを請う。

大正 5 年 1916 年

●大東流柔術の免許を武田惣角より受ける。

大正 8 年 1919 年

●帰郷の途中、京都府綾部で大本教の出口王仁三郎に出会う。精神的修行に打ち込む

大正 9 年 1920 年

●父与六逝去

●京都府綾部本宮山麓に修行道場、植芝塾を開設する。

大正 10 年 1921 年

●植芝吉祥丸（二代道主）京都府綾部に生まれる（6 月 27 日）

大正 11 年 1922 年

●一層の精神的修行と相まって、その心の向上にともない武道の真髄を「合気」と呼称し主唱する。

昭和 2 年 1927 年

●植芝盛平一家あげて上京、芝白金猿町でその道の指導に当たる。活動の舞台が東京になる。

昭和 5 年 1930 年

●目白台に移転。講道館の加納治五郎来訪、親交を結ぶ。専門道場創建の為、建設募金委員会発足。(4月)

昭和 6 年 1931 年

●現在の新宿区若松町に専門道場を建設し「皇武館」と称す。道場開き盛大に举行される。(4月)

●主に、東京、大阪に支部道場多数開設される。

昭和 13 年 1938 年

●賀陽宮殿下、「皇武館」道場御台臨、開祖の演武を御高覧(当時、皇族、当道場御台臨の始め。)

昭和 14 年 1939 年

●合気道が満州建国大学の正課となり開祖植芝盛平顧問となる。

昭和 15 年 1940 年

●財団法人皇武会(初代会長竹下勇)として、厚生省より寄付行為の認可がおりる。(4月30日)

昭和 16 年 1941 年

●開祖植芝盛平満州国神武殿顧問となる。

●茨城県岩間町(現：笠間市)に屋外道場の設置をはかる。

昭和 17 年 1942 年

●「合気道」と呼称する。「皇武館」道場長に植芝吉祥丸就任。

●大日本武徳会内に合気道部創設される。

●「満州国建国 10 周年記念日本武道演武大会」において開祖植芝盛平翁が新京市神武殿で合気道を披露。

昭和 18 年 1943 年

●茨城県岩間町(現：笠間市)に合気道神社建立。

昭和 20 年 1945 年

- 茨城県岩間町（現：笠間市）に合気道神社付属としての茨城支部道場完成。

昭和 22 年 1947 年

- 財団法人皇武会を改組、再編成し「財団法人合気会」とする。

昭和 23 年 1948 年

- 文部省より財団法人合気会に寄付行為改正の認可がおける（2月9日）。理事長に富田健治就任。
- 植芝吉祥丸、本部道場長となる。現在の組織になる基盤がおかれる。

昭和 24 年 1949 年

- 植芝吉祥丸を中心に本部道場の規則的な日常稽古を開始する。

昭和 25 年 1950 年

- 月間「合気会誌」発行（4月）。

昭和 26 年 1951 年

- 植芝守央（現道主）東京に生まれる（4月2日）。

昭和 28 年 1953 年

- 「合気会誌」を「合気」と改称し、小冊子として年4回発行となる（「合気道新聞」の前身）。

昭和 30 年 1955 年

- 財団法人合気会理事に植芝吉祥丸就任、専務理事となる。
- 初の公開演武会を日本橋・高島屋屋上にて開催。

昭和 32 年 1957 年

- 植芝吉祥丸により合気道界初めての単行本「合気道」を刊行。

昭和 34 年 1959 年

- 「合気道新聞」第1号発刊（合気会誌改称）（四月）。

昭和 35 年 1960 年

- 開祖、紫綬褒章を受章。

●財団法人合気会主催の第1回演武大会開催（5月14日、山野ホール）。

昭和36年 1961年

●全国学生合気道連盟発足(10月)。

●防衛庁合気道連合会（現・防衛省合気道連合会）発足(12月)。

昭和39年 1964年

●開祖、勲四等旭日小綬章。

昭和40年 1965年

●中村梅吉文部大臣一行、本部道場訪問、演武を見学(10月)。

昭和41年 1966年

●橋本登美三郎内閣官房長官一行、本部道場訪問、演武を見学（1月）。

●開祖、ブラジルのカトリック教、アポストリカ・オールドトシア教会司教より同教会最高名誉称号のカトリック・アポストリカ・オールドトシア教伯爵号を贈られる。

昭和42年 1967年

●植芝吉祥丸、財団法人合気会理事長に就任する。

昭和43年 1968年

●合気道本部道場新築落成する（1月）。

●合気道学校が東京都から認可される（7月）。

昭和44年 1969年

●開祖植芝盛平、4月26日逝去（86歳）。正五位勲三等瑞宝章受章。

●開祖逝去により、植芝吉祥丸、合気道道主を継承。

●開祖和歌山県田辺市名誉市民となる。

●開祖茨城県岩間町名誉市民となる。

昭和48年 1973年

●本部道場増築落成（1月）。

昭和50年 1975年

●吉祥丸道主、フランス柔道連盟およびヨーロッパ各国の合気会の招聘により訪欧する(10月)。

- 開祖植芝盛平翁の顕彰碑除幕式（10月、和歌山県田辺市）。
- 国際合気道連盟準備委員会発足（11月、スペイン・マドリッド）、植芝吉祥丸二代道主国際合気道連盟永世会長となる。

昭和 51 年 1976 年

- 全日本合気道連盟発足（5月）。
- 大澤喜三郎、本部道場長に就任（6月）。
- 国際合気道連盟第1回総会開催、28ヶ国約400名が参加（10月、東京、京王プラザ・ホテル）。

昭和 52 年 1977 年

- 第15回全日本合気道演武大会を日本武道館で開催。この年より毎年日本武道館において開催される。

昭和 53 年 1978 年

- 第2回国際合気道大会開催（8月、ハワイ・ホノルル）。

昭和 54 年 1979 年

- 合気神社大祭・開祖10年祭を挙行（4月）。
- 第1回全日本少年合気道練成大会を日本武道館で開催（8月16日）。

昭和 55 年 1980 年

- パプア・ニューギニアからの要請で初めて青年海外協力隊員（合気道指導）2名を派遣（7月）。
- 第3回国際合気道大会（9月、フランス・パリ）が開かれる。

昭和 56 年 1981 年

- 合気道本部創建50周年記念祝会が京王プラザ・ホテルで行われる。約2,000名が参加（10月14日）。

昭和 58 年 1983 年

- 開祖生誕100周年記念祝賀会を開催（5月、京王プラザ・ホテル）、記念として開祖レリーフを作成し、本部道場に設置する。

昭和 59 年 1984 年

- 第4回国際合気道大会（8月21日～25日）東京で開催。

昭和 61 年 1986 年

- 植芝守央、本部道場長となる。(1月)。
- 国際合気道連盟 (IAF)が、GAISF (各国際競技団体連合) に正会員として加盟する (10月)。
- 合気道の普及発展による公益への寄与により植芝吉祥丸二代道主藍綬褒章を受章(11月)。

昭和 62 年 1987 年

- 「植芝吉祥丸道主藍綬褒章受章を祝う会」を合気道関係者約 2,500 名を集め、ホテル・ニューオータニで盛大に開催 (3月29日)。
- ノルウェー皇太子・妃両殿下合気道本部道場をご訪問。吉祥丸道主の演武をご高覧 (10月)。

昭和 63 年 1988 年

- 「第5回国際合気道大会」を開催 (8月、和歌山県田辺市)。同時に開祖立像建立、除幕式典を挙げる。

平成元年 1989 年

- 合気神社大祭・開祖 20 年祭を挙げる (4月)。
- 合気道として初めて「第3回ワールド・ゲームズ大会」(西ドイツ、カールスルーエ市)に参加。
- 米国ミッドウエスト合気道センター15周年記念行事出席のため吉祥丸二代道主他1名がシカゴ市を訪問 (10月)。この時道主がシカゴ市名誉市民の称号を受ける。

平成2年 1990 年

- 吉祥丸二代道主、日仏文化の交流に寄与した功績に対しフランス政府より、日本人として最初のスポーツ功労賞金メダルを受章 (5月19日)。

平成3年 1991 年

- 「合気道探求」第一号創刊 (1月)。
- 合気道本部道場創建 60 周年、(財)合気会設立認可 50 周年記念祝賀会を京王プラザ・ホテルで開催。約 1,500 名が参加 (11月17日)。
- 吉祥丸道主ブラジル国サンパウロ市より名誉市民章受章 (9月28日)。

平成4年 1992年

- 「第6回国際合気道大会」を台北市で開催（10月）。
- 吉祥丸道主スペイン国バレンシア工科大学より名誉博士の称号を授与される。吉祥丸道主、スペイン・バレンシア市を訪問（11月6日）。

平成5年 1993年

- 「第4回ワールド・ゲームズ大会」（オランダ、デンハーグ市）に参加。

平成6年 1994年

- (財)日本武道館開館30周年記念式典において、同館の武道普及振興事業に尽力した功績に対し、吉祥丸道主感謝状を贈られる（10月）。
- 吉祥丸道主イタリア合気会設立30周年記念大会に出席。この際道主はローマ法王・ヨハネパウロ2世に謁見した(11月)。

平成7年 1995年

- 中国国家体育委員会群体司司長邱玉才氏本部道場を訪問。植芝守央道場長の演武を見学（2月）。
- 吉祥丸道主は長年にわたる合気道の国内外への普及とこれを通じても社会貢献により、勲三等瑞宝章を受章（4月）。
- 「植芝吉祥丸道主勲三等瑞宝章受章祝賀会」を合気道関係者千五百名を集め京王プラザ・ホテルで盛大に開催（10月8日）。

平成8年 1996年

- 財団法人合気会理事長に植芝守央就任(7月21日)。
- 「第7回国際合気道大会」を千葉県・勝浦市で開催（10月）。

平成9年 1997年

- 「第5回ワールド・ゲームズ」大会（フィンランド・ラハティ市）に参加（8月）

平成11年 1999年

- 植芝吉祥丸二代道主1月4日逝去(77歳)。正五位に叙せられる。
- 吉祥丸道主逝去により、植芝守央、合気道道主を継承（1月5日）。
- 「植芝盛平翁没後30周年記念事業」（植芝盛平翁顕彰会主催）を和歌山県・田辺市で開催（5月）。
- 植芝吉祥丸道主追悼第37回全日本合気道演武大会を日本武道館で開催（5月22日）。
- 「植芝守央道主継承祝賀会」を国内外より合気道関係者約二千五百名を集め京王プラザ・

ホテルで盛大に開催（9月25日）。

平成12年 2000年

- 「第8回国際合気道大会」を東京都・代々木で開催。33ヶ国から代表者が参加（9月）。
- 第40回全国学生合気道連盟演武大会を日本武道館で開催(12月)。

平成13年 2001年

- 植芝盛平翁33回忌法要が田辺市・高山寺で営まれる（3月）。
- 開祖ゆかりの三市町村「田辺市・岩間町・白滝村友好都市提携盟約調印式」が岩間町町役場で行われ植芝守央道主が立会人をつとめる。
- 「第6回ワールド・ゲームズ大会」（秋田市）に参加。
- 合気道本部道場創建70周年・財団法人合気会設立認可60周年記念祝賀会を京王プラザ・ホテルで開催（10月）。

平成14年 2002年

- 全国高等学校合気道連盟設立（5/25）記念第1回全国高等学校合気道演武大会を東京武道館で開催（8月）

平成16年 2004年

- (財)合気会は国際文化交流の促進と諸外国との友好親善への寄与に対し、外務省より外務大臣表彰を受ける（7月）
- 第9回国際合気道大会（9月 東京・代々木）

平成17年 2005年

- 茨城支部道場60周年記念講習会を開催（5月）
- 「第7回ワールド・ゲームズ」に参加（ドイツ・デュイスブルグ）

平成18年 2006年

- 植芝守央道主、ブラジル国サンパウロ市でアンシェッタ勲章を受章（6月）

平成19年 2007年

- 第1回学校合気道実技指導者講習会を開催。（文部科学省・(財)合気会が共催、3月・8月）

平成20年 2008年

- 開祖ゆかりの地四市（北海道遠軽市、茨城県笠間市、京都府綾部市、和歌山県田辺市）

が友好都市提携を結ぶ。

- 第10回国際合気道大会(10月 和歌山・田辺)
- 日仏修好通商条約150周年記念しての武道祭に参加(11月)

平成21年 2009年

- 寄付により合気神社に開祖銅像建立

平成22年 2010年

- 第50回全日本学生演武大会が日本武道館で開催(11月)
- コンバットゲームズに参加(8月 北京)

平成23年 2011年

- 12月「公益財団法人」の認可を受ける

平成24年 2012年

- 財団法人合気会から公益財団法人合気会へ移行する。
- 第50回全日本合気道演武大会を日本武道館で開催(5月)
- 第11回国際合気道大会を東京都・代々木で開催(9月)
- 本部道場創建80周年、財団設立認可70周年記念祝賀会を東京都・京王プラザ・ホテルで開催(9月)